

比の台風被災地

おもいやり 服と一緒に

フィリピンで昨年11月、犠牲者・行方不明者約8千人を出した台風30号の被災者をサポートしようと、「うさちゃんクリーニング」を展開するロイヤルネットワーク(酒田市、仲條啓介社長)が利用客らの協力を得て集めた緊急支援の衣料品約8万点が今月、被災地に贈られた。

当初は今年1月に輸送する計画だったが、現地の治安情勢などの影響で約4カ月遅れになったという。今回、最初に届けられたのは約200世帯、約500人が暮らすパンバンガ州アンヘレス市のターゲットバラングイ。ルソン島の奥地にある集落で、支援の

うさちゃんクリーニング
ロイヤルネットワーク 8万点集め、到着

台風30号は昨年11月、レイテ島などを直撃。被災者は約1600万人に上る。ロイヤルネットワークは東日本一円の店舗網を生かし、専用回収箱を設置するなどして利用客らから古着などを回収。買い取りサービス業のデファクトスタンダード(東京)が現地への輸送を担当した。

「うさちゃんクリーニング」の店舗網を生かして集められた衣類が被災地に届けられた。フィリピン・ターゲットバラングイ

手があり届いていない状況だったという。

NPO法人を介して今月17日、衣料品約3千点が住民に手渡された。併せて、日本国内の事業所、団体から寄せられた即席麺や菓子類など2000世帯1週間分の食料品も寄付。被災者は「うさちゃんクリーニング」の横断幕に寄せ書きし、感謝の言葉を述べた。

衣料品は順次、被災地に届けられる予定で、「共感してくれたお客さま、スタッフに感謝したい」と仲條ひろみ営業推進部本部長。今後も継続的に支援する考えを示している。